



『大学生活と法学』

江藤祥平 [ほか] 有斐閣

本 館	請求記号：K/321/D16	資料ID：111379566
Knowledge Base	請求記号： /321/D16	資料ID：111325890

法科大学院教授 前田 修志

テレビや雑誌で「法律の話」が出てくると、何か難しい社会問題を探り上げていて、自分の生活からかけ離れたテーマのように感じる方も多いのではないのでしょうか。そんな小難しい法律の話は、弁護士や大学の先生だけが知っていればいい、なんてことを考える人もいるかもしれません。もちろん、法律学の授業は難解なものも多く、「法律は簡単」とは言えないのも事実です。

しかし、私たちが生活していく中でこうした「法律」が関わる場面というのは少なくありません。この本は、皆さんの大学生活の中で直面するかもしれないような問題を題材としています。たとえばSNSでの発言と名誉毀損・プライバシー権の侵害、レポートのコピペに潜む著作権侵害などの危険、LGBT/SOGIの問題など…。こうしたテーマは法学部の授業でも採り上げられない、でも日常生活に密着したテーマなので、法学部以外の学生の皆さんも（もちろん法学部の学生の方も含めて）読みやすいものとなっています。

大学生活でも皆さんは友人など多くの人との関わることになるでしょう。さらに現代のネット社会では、SNSなどを通じて見知らぬ誰かとも接する機会が多くなっています。「法」は「他者」との共存をはかる社会生活において必要なルールです。この本は、多くの人と関わりを持つ皆さんの大学生活において、どのように「法」が関わっているのかを感じとるきっかけを与えてくれます。